

NISAで、 長期・積立・ 分散投資



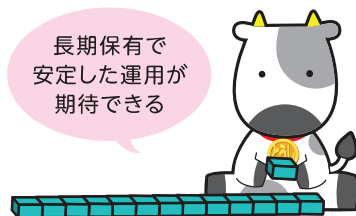
証券投資って
なんだか不安…。
そんな人におすすめ!

証券投資にはリスクがつきもの。
リスクとうまく付き合うための方法
「長期・積立・分散」投資をご紹介します。

【 長期投資 】

金融商品の価格変動に一喜一憂せず、長い目で保有し続ける方法です。金融商品の価格は上がったたり下がったりと変動します。一時的に下がっていたとしても、長期で見ると上がることもあります。また、金融商品を長期で保有することによって、配当金等を繰り返し受け取ることができたり、保有し続けることで売買にかかる手数料等も不要になります。

長期保有で
安定した運用が
期待できる



【 積立投資 (定時・定額購入方法) 】

毎月、定期的に、1,000円など一定金額ずつ買い付ける方法です。株価(基準価格)が安い時は多く、高い時は少なく購入することになり、結果として平均の購入価格が下がります。また、長期投資にもつながる結果となり、この「定時・定額購入」を長期間行うことによって、損失のリスクが抑えられます。

実際の日経平均株価で単純に試算すると
(一括購入の場合)…日経平均の高値であった1989年12月の38,915円で投資をし、2022年12月26,094円で売ったとすると、約33%の損失となります。
(積立投資(定時・定額購入方法)の場合)…同期間に毎月1万円ずつ投資をしたとすると、397万円(397か月)が、683万円と約1.72倍となるという効果があります。



※実例は過去のデータによるものであり、将来の市場環境を保証するものではありません。※配当金・手数料等は考慮していません。

【 資産分散投資 】

投資する先(資産)を分散させる方法です。投資の世界には、「1つのカゴに卵を盛るな」という格言があります。1つのカゴに卵を全部入れておくと、カゴを落としたときに卵が全部割れてしまうので、あらかじめ複数のカゴに分けておくことで、リスクを最小限に抑えようという考え方です。

1つのカゴに盛ると
落とした時
全部割れる。



「長期・積立・分散」投資は、どれか一つではなく、すべて併せて行うことが大切です。
NISAでは、「長期・積立・分散」投資が可能です。
特に、つみたて投資枠では、長期の積立・分散投資に適した一定の株式投資信託のみ購入が可能であるため、自動的に「長期・積立・分散」投資が可能です。